

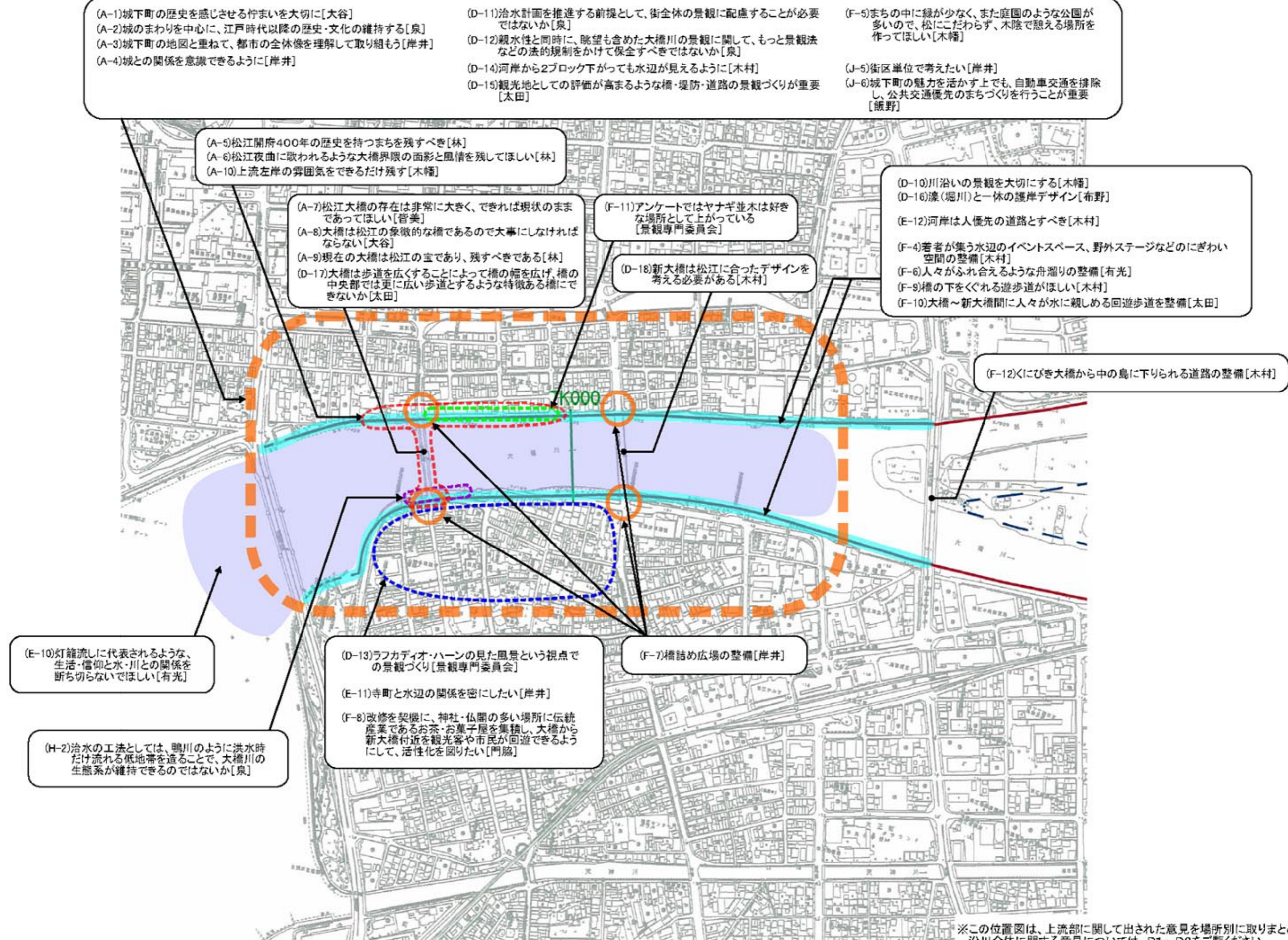
第2回大橋川周辺まちづくり検討委員会での検討結果①
大橋川周辺地域のまちづくりに対する思い・意見
「まとめ」

■第2回大橋川周辺まちづくり検討委員会での検討結果①【大橋川周辺地域のまちづくりに対する思い・意見「まとめ」】

[テーマ]	[全 体]	[上流部]	[中流部]	[下流部]
A 松江の風情		(A-1)城下町の歴史を感じさせる佇まいを大切に[大谷] (A-2)城のまわりを中心に、江戸時代以降の歴史・文化を維持する[泉] (A-3)城下町の地図と重ねて、都市の全体像を理解して取り組もう[岸井] (A-4)城との関係を意識できるように[岸井] (A-5)松江開府400年の歴史を持つまちを残すべき[林] (A-6)松江夜曲に歌われるような大橋界隈の面影と風情を残してほしい[林] (A-7)松江大橋の存在は非常に大きく、できれば現状のままであってほしい[皆美] (A-8)大橋は松江の象徴的な橋であるので、大事にしなければならない[大谷] (A-9)現在の大橋は松江の宝であり、残すべきである[林] (A-10)上流左岸の雰囲気をはできるだけ残す[木幡]		
B 歴史・文化・風土・生活	(B-1)生活と水の多様な関わりの保全[有光] (B-2)治水対策を行った上で、川との関係を1945年前後の姿に戻す[布野] (B-3)農業・漁業など生活と神事とのつながりが魅力であり、その関係を保全してほしい[有光] (B-4)周囲の風土と一体化している神社・仏閣をできるだけ存続する[岸井] (B-5)須衛都久神社や賣布神社のように、かつて水に接していた神社が、今は水から隔てられている。水と神社の関係を大切にしてほしい[有光] (B-6)歴史・文化に関する学習の場とする[飯野] (B-7)生活者だけでなく、来訪者にも風土・生活・信仰などが感じられるような地域であることが求められる[有光] (B-8)舟運の再生[有光] (B-9)地域の文化としてのホーランエンヤを大切に[有光] (B-10)如泥石をはじめ、伝統的な護岸工法を再現できないか[布野]			(B-11)宍道湖から中海までを一体的に考えたとき、下流部の縁は大切なポイントであり、その空間を大切にするという意識を持つべき[岸井] (B-12)水辺に関わる産業としての舟倉や造船所があることが記憶として残るように[有光]
C 自然・環境	(C-1)人工物をできるだけ排除し、環境との調和を図る[泉] (C-2)水質の向上[有光] (C-3)生態系の保全(特に中流)[有光] (C-4)自然環境が残っている地域を学習の場として活用を図る[飯野]		(C-3)生態系の保全[有光] (C-5)中州は貴重な湿地であり、維持・保全すべき[木村] (C-6)中州のビオトープ機能の向上[木村] (C-7)中州を植物・生物に関する学習の場として活用する[飯野] (C-8)中の島を自然観察スポットとして整備し、環境教育に役立てる[門脇] (C-9)中の島の癒しの空間の保全[木幡]	(C-10)多くの鳥類がいる河口付近を、自然に関する学習の場として位置づけるとおもしろい[飯野]
D 景観・眺望	(D-1)広さ、ゆったりとした風景が必要[岸井] (D-2)恵まれた自然景観を残すことが大切[泉] (D-3)大山隠岐国立公園を意識し、大山までを含めた景観づくりが必要[島田] (D-4)常に見られる固定的な景観だけでなく“朝霧に浮かぶシジミ舟”“遠くに見える大山”などの季節的なものも含め、時折見られる風景への評価も必要[景観専門委員会] (D-5)相手(船や対岸)を見る・相手から見られるという意識を持ち合うことが、風景をもっと良くするためには必要[岸井] (D-6)船からの景観による景観規制[布野] (D-7)この際、川沿いからなくしたいものを消す[岸井] (D-8)松江は水際に風情があるので、そこをコンクリートで断ち切ると風情のない空間になってしまう[桑子] (D-9)ホーランエンヤは大橋川を一体化する伝統行事であり、このホーランエンヤを楽しむような河岸と景観であってほしい[布野]	(D-10)川沿いの景観を大切に[木幡] (D-11)治水計画を推進する前提として、街全体の景観に配慮することが必要ではないか[泉] (D-12)親水性と同時に、眺望も含めた大橋川の景観に関して、もっと景観法などの法的規制をかけて保全すべきではないか[泉] (D-13)ラフカディオハーンの見た風景という視点での景観づくり[景観専門委員会] (D-14)河岸から2ブロック下がっても水辺が見えるように[木村] (D-15)観光地としての評価が高まるような橋、堤防、道路の景観づくりが重要[太田] (D-16)濠(堀川)と一体の護岸デザイン[布野] (D-17)大橋は歩道を広くすることによって橋の幅を広げ、橋の中央部では更に広い歩道とするような特徴ある橋にできないか[太田] (D-18)新大橋は、松江に合ったデザインを考える必要がある[木村]	(D-19)中州の水郷風景の保全[有光]	(D-20)風土記に思いを馳せる景観の保持[飯野] (D-21)矢田の渡し 出雲国風土記[景観専門委員会] (D-22)赤瓦の集落が移転でなくなるのは残念[有光]
E 水辺・水面・親水性	(E-1)水辺の美しさを大事にする[大谷] (E-2)水辺の近さを大事にする[大谷] (E-3)目線と水面高が近い点[木村] (E-4)街と水辺の一体感[木村] (E-5)水面との近い関係を保持する[有光] (E-6)耐水性と親水性を上手に調和させた街づくり[宇田] (E-7)柵・手摺りに頼らず、自然な形で河岸の安全を保持する[有光] (E-8)河岸はできる限りゆるやかでやわらかい形としたい[有光] (E-9)ある時は右に、ある時は左に流れる不思議な川の特性を大事にしたい[布野]	(E-10)灯籠流しに代表されるような、生活・信仰と水・川との関係を断ち切らないでほしい[有光] (E-11)寺町と水辺の関係を密にしたい[岸井] (E-12)河岸は人優先の道路とすべき[木村]		

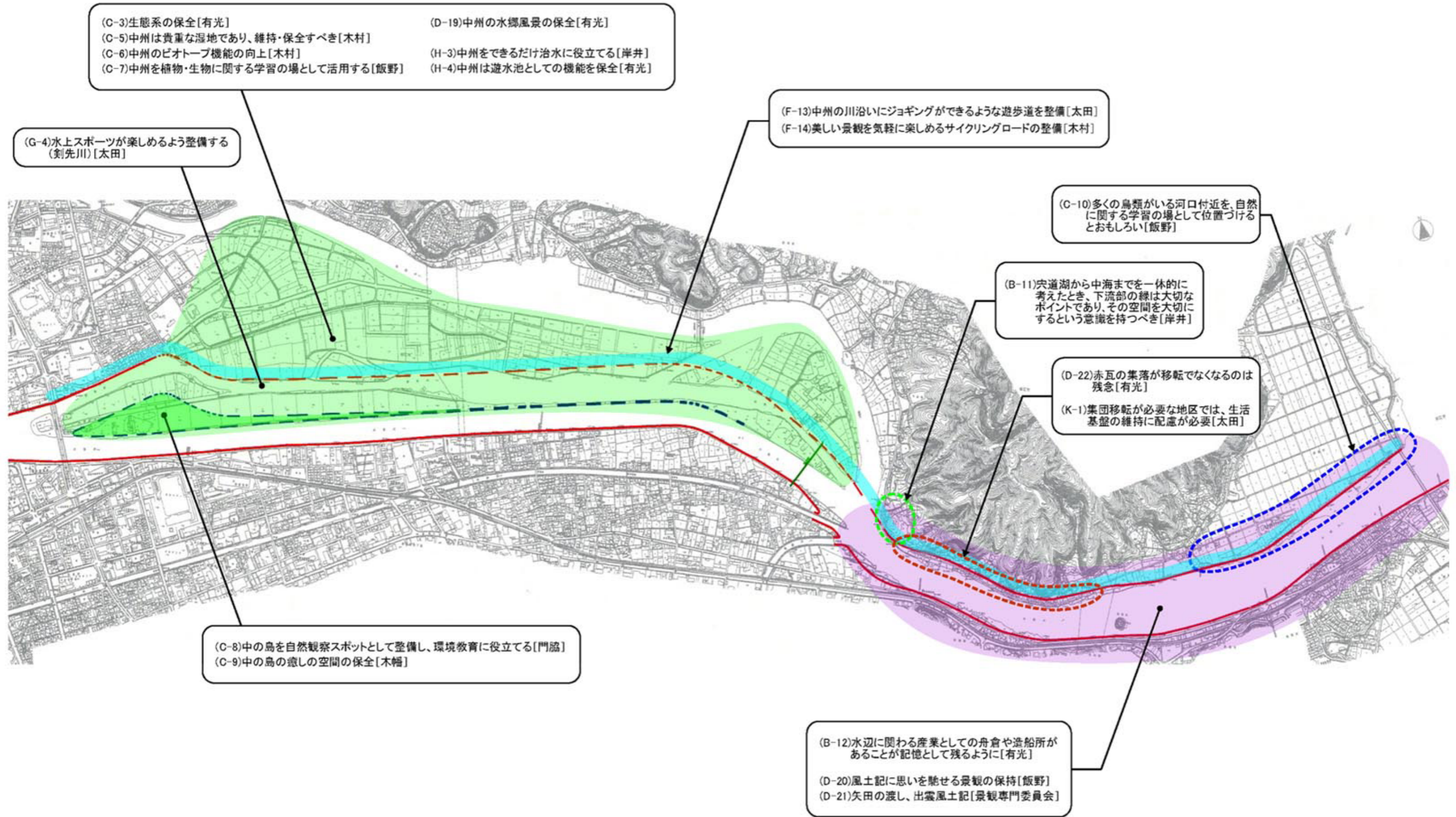
[テーマ]	[全 体]	[上流部]	[中流部]	[下流部]
F 川沿いの遊歩道 憩いの場 にぎわい空間	(F-1)水辺をできるだけ歩ける空間にする[岸井] (F-2)リバーウォークができる歩道づくり[飯野] (F-3)住民が水と親しむ憩いの場の整備[飯野]	(F-4)若者が集う水辺のイベントスペース、野外ステージなどのにぎわい空間の整備 [木村] (F-5)まちの中に緑が少なく、また庭園のような公園が多いので、松にこだわらず、木陰 で憩える場を作ってほしい[木幡] (F-6)人々がふれ合えるような舟溜まりの整備[有光] (F-7)橋詰め広場の整備[岸井] (F-8)改修を契機に、神社・仏閣の多い場所に伝統産業であるお茶・お菓子屋を集積し、 大橋から新大橋付近を観光客や市民が回遊できるようにして、活性化を図りたい。 [門脇] (F-9)橋の下をくぐる遊歩道がほしい[木村] (F-10)大橋～新大橋間に人々が水に親しめる回遊歩道を整備[太田] (F-11)アンケートではヤナギ並木は好きな場所として上がっている[景観専門委員会] (F-12)くにびき大橋から中の島に下りられる道路の整備[木村]	(F-13)中州の川沿いにジョギングができるよ うな遊歩道を整備[太田] (F-14)美しい景観を気軽に楽しめるサイクリン グロードの整備[木村]	(F-14)美しい景観を気軽に楽しめるサイクリン グロードの整備[木村]
G 川で楽しむ	(G-1)かつてのように泳ぎたい、釣りをしたい[布野] (G-2)カヌー・レガッタ・ボートが楽しめる川[有光] (G-3)ボート部の練習が見たい[布野]		(G-4)水上スポーツが楽しめるよう整備する (剣先川)[太田]	
H 治水	(H-1)浸水を許容できるまちづくりの方法を研究してはどうか[有光]	(H-2)治水の工法としては鴨川のように洪水時だけ流れる低地帯を造ることで、大橋川 の生態系が維持できるのではないかと[泉]	(H-3)中州をできるだけ治水に役立てる[岸井] (H-4)中州は遊水池としての機能を保全[有光]	
I まちづくりと 市民意識	(I-1)治水事業を契機に、松江の魅力を高めるためにこのまち全体がどうあるべきか 市民全体で考える機会になればよい[後藤] (I-2)必ずしも市民全体が宍道湖・大橋川周辺の景観を重要視しているとは限らない と思う。今回の課題を市民意識の向上につなげることが大切[後藤] (I-3)宍道湖や大橋川の整備では、市民の意見を反映させ、本当に利用されるものを 作ることが重要[後藤]			
J めざすべき まちのイメージ	(J-1)大橋川を、出雲から米子までのつながりを意識できるように一体の空間として 扱う[岸井] (J-2)国際文化観光都市にふさわしい特性と安らぎを備えた街づくり[宇田] (J-3)日本一きれいな水の都とする[島田] (J-4)水上スポーツの世界大会、全国大会が開催できるようにし、観光と結びつけて 地域活性化を図る[島田]	(J-5)街区単位で考えたい[岸井] (J-6)城下町の魅力を活かす上でも、自動車交通を排除し、公共交通優先のまちづくり を行うことが重要[飯野]		
K 地域コミュニティ				(K-1)集団移転が必要な地区では、生活基盤 の維持に配慮が必要[太田]

[上流部で出された意見の位置図]



※この位置図は、上流部に関して出された意見を場所別に取りまとめたものです。沿川全体に関する意見については、P1～P2をご覧ください。

[中～下流部で出された意見の位置図]



※この位置図は、中～下流部に関して出された意見を場所別に取りまとめたものです。沿川全体に関する意見については、P1～P2をご覧ください。